

令和2年(2020年)7月17日(金曜日)

# DIさらさらに悪化

## 三島商議所 管内4〜6月 コロナ影響 マイナス 69.5

三島商工会議所などが運営するみしま経営ステーション「M-ステ」はこのほど、三島市内の中小企業を対象にした4〜6月の景況調査結果をまとめた。景気が好転したと回答した企業から悪化した企業との割合を

引いた業況判断指数(DI)はマイナス69.5で、新型コロナウイルスの影響で大幅に悪化した前回(1〜3月)をさらに下回った。業種別では、飲食・宿泊業が前回に続いてマイナス100.0。旅館業はマイナス76.0となった。

中小企業基盤整備機構が調べた県内のDI値はマイナス62.9で、県内値を下回るのは5期連続。このほか、新型コロナウイルスで落ち込む経営の支援策として利用が多いのは、持続化給付金(24.1%)、雇用調整助成金(20.7%)だった。調査は市内170事業所を対象に行い、85事業所(50.0%)から回答を得た。